

無石綿

NSベースレベラー

住宅基礎天端用仕上材

NSベースレベラーは、住宅基礎コンクリート打設天端面に流し込むだけで、平坦な仕上り面が得られるセメント系仕上材です。

特長

- 優れた流動性により、打設直後のコンクリート表面に流し込むだけで水平な面が得られます。
- セメント系のため耐水性に優れ、鉄部に対し腐食の心配がありません。
- 基礎コンクリート打設から天端仕上げまで1日工程で施工でき、大幅な工期短縮が図れます。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	標準調合	塗厚	標準施工長さ	
25kg/袋	住宅基礎コンクリート天端	基礎コンクリート	清水 約6.5ℓ	10~15mm	10mm厚	約16m(幅10cm) 約13m(幅12cm) 約10m(幅15cm)
					15mm厚	約10m(幅10cm) 約9m(幅12cm) 約7m(幅15cm)

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

性能

試験項目	試験結果	試験方法	
フロー値(cm)	22.0	JASS 15 M-103	
凝結時間(時間-分)	始発		6-30
	終結		8-00
曲げ強度(N/mm ²)	28日		5.9
圧縮強度(N/mm ²)	28日		24.5
下地接着強度(N/mm ²)	14日		1.9

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

練混ぜ

所定量の水を容器に入れ、NSベースレベラーを徐々に加えながら、ハンドミキサー等でダマが残らないように約3分間均一に練り混ぜてください。

- * 所定の流動性を得られない場合がありますので、高速回転(600rpm以上)で十分練り混ぜてください。
- * 強度低下の原因となりますので標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季20分以内、冬季40分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。
- * 練混ぜ水の温度が高いと硬化が速くなり、流動性が悪くなりますので、特に夏季はポリ容器やバケツに保管している水の温度にご注意ください。

下地処理

打設後の下地処理としてコンクリートのブリージング水が引いた直後に左官刷毛やブラシ、荒めのスポンジ等を用いてブリージングによるレイタンスの除去や表面の清掃を兼ねて目荒らしをおこなってください。部分的にブリージング水が残っている場合はスポンジやウエス等で除去後目荒らし清掃をおこなってください。

- * NSベースレベラーの 流し込み施工が当日、翌日以降に関係なく、コンクリート打設面を目荒らしすることには付着性の向上、浮き防止として有効ですので、必ずおこなって下さい。

流し込み

コンクリート打設後、水引きが終了したら、すぐにNSベースレベラーを流し込み、表面をへら等で均してください。

コンクリート打設翌日以降の施工の場合は、下地コンクリート面にNSハイフレックスHF-1000の3倍希釈液を塗布してください。

打継ぎは、10cm程度重ねるように材料を流し込み、へら等で均してください。

- * 平坦に仕上げるために、流し込みは練り混ぜ後10分以内におこない、素早く仕上げてください。
- * 接着不良の原因になりますので、吸水調整材の塗布をおこなう前にコンクリート表面のぜい弱層・レイタンス・油分および汚れ等は刷毛等で除去してください。
- * 硬化不良や表面の仕上り不良の原因となりますので、流し込み直後に降雨・降雪の影響を受けないように必ずシート掛け等の養生をおこなってください。
- * 仕上り精度が悪くなりますので、流し込み後、15分以上経過しての手直しは避けてください。

養生

風や直射日光による急激な乾燥あるいは、冬季では硬化前の急激な温度低下を防ぐため、施工後1日以上はシート等で養生してください。

施工後の養生期間は夏季3日以上、冬季5日以上おこなってください。

- * 強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により打設面の乾燥が激しい場合には、施工翌日以降に散水養生をおこなってください。



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。